

## 児童・青年期委員会

### ▶ 2016.4 月

2016年3月6日（日）14:00～16:00 貸会議室プラザ 八重洲北口3階2号室において第17回児童青年期委員会を開催し、下記の事項を審議した（出席者9名、欠席者3名）。

1) 児童マニュアルの作成

未編集の章を整理して、校正作業をすすめる。

2) 29回総会における委員会プログラムの企画

高橋雄一委員がプログラム委員に就任した。前年度開催した研修会は、精神神経学会の専門医制度変更が過渡期にあることから今回は見合わせ、教育講演会と関連するシンポジウムとして年代別の発達障害評価をテーマに企画する。

3) 精神保健指定医講習会（更新）における症例提示

4) 第19回有床フォーラム（横浜）への協力

市立豊中病院 宮川 真一

### ▶ 2016.3 月

児童・青年期委員会は、第24回総会（2011年 福岡）で組織が発議され、6名の委員で活動を開始した。その後新委員を加えつつ、総合病院の児童・青年期精神医療について検討と提言を続けている。

#### 活動内容

1) 学会総会におけるシンポジウム

第25回総会 2012年11月30日 東京 大田区産業プラザ

「総合病院における児童精神科医療の現状と課題」

大学病院における児童青年期精神医学への役割

齋藤卓弥（日本医科大学精神医学教室）

総合病院における児童精神科医療の現状

荒井 宏（横浜市立市民病院 神経精神科）

総合病院における児童精神科診療の課題

高橋 雄一（横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター）

総合病院における児童精神科医療の現状：アンケート調査結果を中心に

高橋 秀俊（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・思春期精神保健研究部）

総合病院における児童精神科医療の現状と課題：地域における中核病院の立場から

山崎 透（静岡県立こども病院こどもと家族のこころの診療センター）

第 26 回総会 2013 年 11 月 30 日 京都 京都テルサ

「総合病院における児童精神科医療の現状と課題（パート 2）」

こども病院における精神心理リエゾンコンサルテーション

宮川真一（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター精神科）

当院における児童青年期精神科診療の現状

豊永公司（大阪市立総合医療センター児童青年精神科）

福島県いわき市における児童青年期精神医療の現状—被災地の現状も含めて—  
本田教一（舞子浜病院）

岩手県の児童精神科医療の現状と展望

八木淳子（岩手医科大学医学部精神深海科学講座、いわてこどもケアセンター）

第 27 回総会 2014 年 11 月 28 日 つくば市 つくば国際会議場

「総合病院における児童精神科医療の現状と課題（パート 3）母子をめぐる連携」

子どもの心の診療で一般精神科医ができること—母子をめぐる連携を中心に—  
荒井宏（横浜市立市民病院神経精神科）

リエゾン精神科による母子への支援

疇地道代（国立病院機構大阪医療センター精神科）

児童精神科と子ども虐待対応院内組織(CPT)の連携状況

磯野友厚（総合病院国保旭中央病院神経精神科・児童精神科）

児童相談所をはじめとする関係行政機関との連携のしかた

築島 健（札幌市精神保健福祉センター）

28 回総会 2015 年 11 月 28 日 徳島市 あわぎんホール

「総合病院における児童精神科医療の現状と課題（パート 4）四国の総合病院児童精神科」

徳島大学病院における児童青年期診療の現状

田丸麻衣（徳島大学病院精神科神経科）

高知医療センター児童精神科の現状と課題

泉本雄司（高知医療センターこころのサポートセンター児童精神科）

愛媛大学病院「子どものこころセンター」の開設と児童精神科医療の方向性

堀内史枝（愛媛大学医学部附属病院 子どものこころセンター・精神科）

児童思春期精神科医療の課題～家族病理の視点から～

中土井芳弘（四国こどもとおとなの医療センター児童精神科）

2) 学会総会における児童・青年期研修会

日本精神神経学会の後援で研修会を開催した。

28回総会 2015年11月28日 13時20分～17時20分 徳島市 あわぎん  
ホール

「総合病院における子どものこころの治療」

講演

「精神療法」 松田文雄（医療法人翠星会松田病院）

「薬物療法と社会的支援」 齊藤卓弥（北海道大学大学院医学研究科児童思春  
期精神医学講座）

症例提示

梅原英裕（徳島大学病院精神科神経科）

福間亮介（四国こどもとおとなの医療センター児童精神科）

3) 児童・青年期精神科診療の実態調査

2012年に学会会員に対して児童・青年期診療についてのアンケートを実施し  
た。

4) 児童精神科診療マニュアルの作成

総合病院の現場でリファレンスとして役立つマニュアルを委員を中心に執筆  
し、出版にむけて準備中である。

5) 有床フォーラムへの協力参加

市立豊中病院 宮川 真一